



すみれ 1 くみ

くらすだより

月主題： だいすき

白沢

- ・ 保育者の祈る姿を見て、一緒に祈ろうとする。
- ・ 保育者や友だちとやり取りをしながら、その存在を楽しいものと感じ一緒に過ごすことが増える。
- ・ 生活や遊びを通して、保育者との応答的な関わりのなかで、言葉や思いを表現し、人と関わる心地良さを感じる。
- ・ 保育者の仲立ちを通して「貸して」「どうぞ」などのやりとりをするなか、言葉や動作で思いを表現しようとする。

厳しい寒さが続きますが、散歩に出ると水仙や梅の花が咲いており早春の訪れを子どもたちとともに感じています。

さて、先月の活動では子どもたちは友だちの持っているものに関心を持ち、手を伸ばして関わりが増える姿がありました。保育者が仲立ちをして、「かして」「どうぞ」「まだよ」のやりとりがはじまっています。また、自分でという気持ちが強くなり靴下や靴を自分で履こうとしたり、上着のファスナーを自分で閉めようとしています。子どもがファスナーを閉められず諦めた時、保育者はファスナーを最初だけ閉じて引き上げる部分を子どもが行うようにしています。食事の場面では色々な食感を感じながら、「おいしー」と言いながら食事する姿が見られました。

今月も子どもたちに寄り添い、子どもたちが安心して過ごせる温かな保育に努めてまいります。残り2か月となりましたが、よろしくお願いいたします。



■感染症対策のご協力を
お願いいたします。

ご家庭でも、
手洗いをお願いいたします。

